

No	大分類	中分類	施策の内容	事業名称	事業内容	計画期間	主管課	29年度の執行状況			29年度の実施内容	前年度の課題と対応	評価	評価説明	方針	教育の方針と重点	今後の課題
								予算額 千円	決算額 千円	不用額 千円							
16	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを旨とします	安全・安心・快適で、質の高い学校づくりを推進します。	安全・安心な学校づくりの推進	いじめ根絶等 人権教育の推進事業	すべての児童生徒が、安心して楽しい学校生活が送れるよう、いじめの根絶をめざし、どの学校もいじめの未然防止に取り組みます。その取り組みの中で、いじめにつながる偏見や差別的なものの見方を改めていく人権教育を推進するとともに、どの子どもも自分の居場所やまわりの仲間との絆を感じられるような温かい人間関係づくりを目指します。	H29～H32	学校教育課	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 12月に実施する「ひびきあいの日」を核として、人権を尊重する学校宣言を具現する取組、日常的なよきみつけを行う。 国の人権教育開発事業の指定を受けた本木小学校の実践をもとにして、市内の教職員が人権教育について研修した。 	<p>課題</p> <p>教師の人権感覚をさらに磨く。</p> <p>対応</p> <p>管理職、人権教育担当者が研修で学んできたことを、校内の職員研修で啓発する。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> どの学校においても、仲間のよさや頑張りを互いに認める風土ができていく。 いじめ防止基本方針で示されたいじめの定義にそって、初期段階でいじめを認知することができている。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 学校でいじめを認知したとき、校内のいじめ未然防止、対策委員会に速やかに報告し組織的に対応する。その後、教育委員会は報告を受け情報共有する。 	
17	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを旨とします	安全・安心・快適で、質の高い学校づくりを推進します。	安全・安心な学校づくりの推進	いじめ未然防止教育推進事業	「いじめ防止対策推進法」(平成25年9月施行)及び「瑞穂市いじめ防止基本方針」(平成27年1月制定)を踏まえ、いじめの未然防止や望ましい仲間関係づくりを目的に、小・中・高3年次から3年を対象として、集団アンケートを実施し、結果を学校集団ごとや個別指導に活用します。教員は夏季休業期間及び秋季に講師を招いて、結果の分析や指導への生かし方について研修します。	H29～H32	学校教育課	3,482	3,428	54	<ul style="list-style-type: none"> 「瑞穂市いじめ未然防止教育推進事業」の一環として、「いじめの未然防止、望ましい仲間関係づくり」を目的に、小・中・高3年次を対象として、学校集団アンケートを実施した。さらに、夏季休業期間及び秋季に講師を招いて校内研修会を実施した。 	<p>課題</p> <p>対人関係を上手く築けない児童生徒への対応を考える。</p> <p>対応</p> <p>Hyper-Quiにしたいことでソーシャルスキル尺度を加え、指導に生かした。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> 夏季の研修会では、講師を招き各学級及び個々のアセスメントを実施することができた。その分析をもとに2学期以降の指導に生かすことができた。 2回目の結果を分析し、学級や個々の実態を確認でき、指導の成果を実感することができた学級担任が多かった。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 県内の講師は4人しかおらず、そのうち3名は現職の教員であるため、研修会の日程を調整することが大変むずかしい。そのため、市内の教員が研修会を実施できるよう人材育成していく。 	
18	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを旨とします	安全・安心・快適で、質の高い学校づくりを推進します。	安全・安心な学校づくりの推進	特別支援教育推進事業	障がいのある全ての児童生徒の教育の一層の充実を図るため、各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に一人一人の教育支援計画を作成し、特別支援教育を推進します。	H29～H32	学校教育課	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 個別の教育支援計画・指導計画の枠を市として統一し、保護者の確認欄を設け、合意形成の上で作成できるようにした。 教師の専門性の向上をめざし、市として研修会を3回開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との合意形成の上で、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、次年度に引き継ぐ必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個別の教育支援計画の目的や活用の方針について、教員に周知することができた。 	新規		
19	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを旨とします	安全・安心・快適で、質の高い学校づくりを推進します。	安全・安心な学校づくりの推進	教育相談事業	すべての児童生徒が安心して登校できるよう、中学校校区ごとにスクールカウンセラーを配置し、専門性を生かした教育相談体制の充実に取り組みます。また、適応指導教室(アジサイスクール)を開設し、不登校児童生徒の学校復帰をめざし支援しています。	H29～H32	学校教育課	9,812	9,812		<ul style="list-style-type: none"> 年3回(1.5時間)実施 市内の不登校児童生徒の状況、各中学校区単位で各校の現状の交流 各学校の教育相談担当者 10名 市教委担当者と相談員 計 4名 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> アジサイスクールと学校との連携をさらに深める。 <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育課担当が、アジサイスクールと学校の連携の要となる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 各校の取り組みを知ることで教育相談体制の見直しを図ったり、指導に生かしたりすることができた。 	新規	<ul style="list-style-type: none"> 不登校が長期化している児童生徒の支援について、検討していく。 	
20	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを旨とします	安全・安心・快適で、質の高い学校づくりを推進します。	安全・安心な学校づくりの推進	自分の命は自分で守る防災教育の推進事業	防災教育を推進し、すべての児童生徒が、自然災害が起きた際に、自分の命は自分で守ることができる力を身につけられるようします。避難の仕方だけでなく、危険を予測する力や状況に合った判断ができる力を育成することを目指します。	H29～H32	学校教育課	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 地震、火災、洪水等の自然災害を想定した「命を守る訓練」の実施、加えて保護者への引き渡し訓練等も確実に実施し、必要な指導を行った。 学校の実態に応じて不審者、北朝鮮による弾道ミサイル発射に対応する訓練を実施し、必要な指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 「命を守る訓練」の際、電源喪失を想定したり、より円滑な保護者への引き渡し訓練を実施したりと、様々な状況での訓練を実施できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 「命を守る訓練」の際、電源喪失を想定したり、より円滑な保護者への引き渡し訓練を実施したりと、様々な状況での訓練を実施できた。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「連れ去り防止教室」等を通して、不審者に対する訓練を強化する。 不審者事業については関係機関と密に連携を図るとともに、保護者への注意喚起に努める。 	
21	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを旨とします	安全・安心・快適で、質の高い学校づくりを推進します。	安全・安心な学校づくりの推進	生活支援員の配置事業	障がいの有無にかかわらず、特別に配慮が必要な児童生徒に、学校での学習上・生活上の支援を行うため、生活支援員を配置します。	H29～H32	学校教育課	34,032	32,991	1,041	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校10校に、生活支援員40人を配置し、特別な配慮が必要な児童生徒に生活上の支援また学習支援を行うことができた。 年間3回の研修会を実施し、障がい理解と適切な手立てについて学ぶ場をもった。 	<ul style="list-style-type: none"> 有償ボランティアから補助職員となったことで、勤務のあり方について混乱があった。 <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当者が各校を訪問し面談するなどして、周知徹底を図った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 研修の充実によって、生活支援員の勤務について理解するとともに、自分の役割を意識して職務に当たる姿勢が見られた。 	継続		
22	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを旨とします	安全・安心・快適で、質の高い学校づくりを推進します。	安全・安心な学校づくりの推進	フレンドリー指導員の配置事業	年間30回以上出席をする児童・生徒のうち毎年5～20人が適応指導教室(アジサイスクール)に通室します。学校復帰を支援するため学校や保護者と連携して児童生徒の学習・生活指導ならびに相談にあたるため、フレンドリー指導員を配置します。	H29～H32	学校教育課	160	122	38	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、56回のフレンドリーサポーターの活用を行った。 個別に学習指導を行ったり、ホールでの軽スポーツを行ったりして適宜児童生徒の状態に応じた支援を行った。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援が必要である時に、柔軟に対応できるフレンドリー指導員の配置がほしい。 <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適応指導教室の利用状況を予測し、1週間前までに、フレンドリー指導員に指導依頼を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 十分な学習保証や一人一人にあった活動を提供できたため、6名の児童生徒が、学校復帰に至った。 	新規		

No	大分類	中分類	施策の内容	事業名称	事業内容	計画期間	主管課	29年度の執行状況			29年度の実施内容	前年度の課題と対応	評価	評価説明	方針	教育の方針と重点	今後の課題
								予算額 千円	決算額 千円	不用額 千円							
23	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを指します	安全・安心・快適で、質の高い学校づくりを推進します。	特色のある学校づくりの推進	特色のある学校づくり推進事業	瑞穂市の魅力ある園・学校づくりを推進するため、伝統と特色のある園・学校づくりのために要する費用の補助を行います。 園児児童生徒及び地域ならびに園・各学校と伝統等の実態に応じた創意ある教育活動の展開を通じて、園児児童生徒にとって魅力ある園・学校づくりを推進することは、園児児童生徒の「生きる力」や「ふるさと意識」を大切に育てる心の育成につながります。	H29～H32	学校教育課	7,000	6,304	696	<ul style="list-style-type: none"> ・種小・園の健康づくり・体力づくり・花づくり。 ・本田小・土と光の学園 ふれあい(交流活動)、みりの(栽培活動)、ひびき(歌声活動) ・年中小・科学的な関心を高める「年表SCIENCE」。 ・生津小・英語学習「なまづっぺタイム」。 ・南小:「きそ」学力向上、「ひびきあい」歌声、「さきた」生産・地域・環境活動。 ・中小:仲間づくり、自然・文化・人に触れる活動。 ・西小:キャリア教育を通じたプロジェクト学習。 ・種小中:創造活動・職場体験学習・キャリア教育。 ・種小中:職場体験、進路学習。 ・黒南中:キャリア教育・職業体験学習。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校づくりのため、特に主要部分について、有効な予算執行をおこなう必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校において、児童・生徒の実態や地域の特色を生かした教育活動が継続して取り組まれ、地域において学校の魅力ある活動として定着している。 ・地域人材の活用や活動の補助費として、補助金が有効利用されている。 ・年間計画に基づいて、特色ある学校づくりを進めることができた。 	継続	○	
24	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	特色のある学校づくりの推進	コミュニティ・スクール推進事業	複雑・多様化した学校の課題や子どもたちを取り巻くいじめ・暴力の問題など、学校と保護者や地域住民が協働して解決し、子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めるコミュニティ・スクールの仕組みを構築します。	H29～H32	学校教育課		0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール研究大会、国の行政説明会に参加し、学校運営協議会の導入について見識を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・瑞穂市型コミュニティ・スクールの具体案を示すまでに至らなかった。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度当初に各中学校区に学校運営協議会制度を導入する計画を立てたが、構想を実現することができなかった。 	改善		<ul style="list-style-type: none"> ・瑞穂市の実情に応じた、学校運営協議会の在り方、要項及び組織の整備を早急に行う。 ・校長会と情報共有を密に行い、学校運営協議会導入に向けての準備を推進する。
25	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	確かな学力の定着を図る教育の推進	学力向上推進事業	各校ごとに、前年度の成果や課題・児童生徒の実態等を踏まえ、自校で取り組む具体的な方策「指導改善プラン」を明らかにします。 自校の「指導改善プラン」をもとに、児童・生徒の学力向上の取り組みを進めます。その中で、全国学力・学習状況調査や岐阜県における学習状況調査等の結果を分析し指導改善を図ることにより、PDCAのサイクルを機能させ、学力向上を目指します。	H29～H32	学校教育課	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・6月と3月に学力向上推進会議を開催。6月の会議では、前年度の全国学力・学習状況調査を踏まえた市の現状と対応について共通理解を図るとともに、各中学校区で各校の指導改善プランや学力向上に向けた取組を交流し、互いに学び合った。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校の家庭学習の取り組み方や授業における学習のルールがちがう。 対応 <ul style="list-style-type: none"> ・小中が連携して学力向上に向けて取り組む。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進会議で、中学校区の交流を行うことで、それぞれの成果や課題、学力向上に向けた取組を共通理解し、家庭学習の取り組み方や学習のルールの統一を図ることができた。 	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の取組(手引き等)や学習のルール、帯時間学習などを計画的に実施し、指導改善を図る。
26	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	確かな学力の定着を図る教育の推進	みずほ未来プロジェクト事業(MMP)	市内中学校の希望者が、瑞穂市の未来や瑞穂市の抱える課題について調べ、考え、話し合うことを通じて、よりよい主催者となる土台を作ります。 この学習を通じて、社会の一員としての自覚をもち、目の前の課題に対して多面的・多角的に思考・判断し、自分なりの考えを主張できる力を身に付けさせていきたいと考えます。	H29～H32	学校教育課	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・「咲き誇れみずほの花」をテーマに、市の花であるアジサイをア・ピールする手立てを調査研究した。 ・プロジェクト会議、市内交流会を通してそれぞれの中学校の提案を交流した。 ・市民の集いにおいて、追究の成果を発表した。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに対する追究の成果を生徒が目に見える形で実感できるようにする。 対応 <ul style="list-style-type: none"> ・アジサイを購入し、各中学校に贈呈する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・アジサイの認知度を高める手立てを考える中で、よりよいまちづくりについて多面的・多角的に考えることができた。 ・市内交流会、市民の集いの場で自分たちの考えを堂々と主張することができた。 	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・瑞穂市の未来を考えることを通じて、生徒が瑞穂市についてもっと理解を深めていくことができるような追究過程を提供する。
27	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	確かな学力の定着を図る教育の推進	理科支援員の配置事業	理数教育の重要性が言われる中、全県的な課題として小学校に理科の専門教員が少ない現状もあり、理科室の整備等も十分でない状況です。また、特別に配慮を要する児童の増加に伴い、学級担任の授業の前後に実験の準備や片付けを行うのは困難状況にあります。そこで、瑞穂市では理科支援員を配置します。実験の準備・後片付けを担うことにより、安全を確保しつつ、実験や観察をより多く行い、問題解決的な学習を充実させることができます。	H29～H32	学校教育課	1,584	1,537	47	<ul style="list-style-type: none"> ・理科支援員3名を7つの小学校の実態に応じて配置した。 (南小・生津小に1名、種小、牛牧小に1名、本田小、中小、西小に1名) ・実験の準備や後片付け、理科室の整備等に従事してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・薬品の分類、保管等の管理について知識を深める。 対応 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会理科指導主事による研修を実施する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・理科支援員の配置により、安全に実験、観察をすることができた。また、学級担任が準備、後片付けに要する時間を短縮することができた。 	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・理科室、理科準備室の整備は順調に進んでいる。理科支援員としての役割を明確にし、教職員の多忙化解消に寄与する。
28	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	確かな学力の定着を図る教育の推進	MSJ・MSKの活動推進事業	青少年の健全育成も目指し、自分たちの地域や学校をよくしていこうという願いのもと、中学校では、MSJ(マナーズ・スピリット・ジュニア)を、小学校では、(マナーズ・スピリット・キッズ)というボランティア組織をつくり、活動しています。自分たちの地域や学校をより良くしていくこと、主体的に取り組む態度や実践力を育てていくとともに、子どもたちから「あいさつ」や「ボランティア」の輪を広げていきます。	H29～H32	学校教育課	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校においてMSK、MSJというボランティア組織を結成した。MSJサミットを開催し、各中学校での取組内容や協力して活動できる内容を交流した。 ・北方町、瑞穂市、本巣市MSサミットに参加し、生津小学校が実践発表を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・校内でのあいさつ運動が活動の中心となった。 対応 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校が合同であいさつ運動を行う機会を設定した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回、MSJ推進委員が小学校へ出向き、あいさつ運動を行うことができた。 ・廊下歩行、清掃活動、駐輪場の整頓等学校をよりよくする活動が増えた。 	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・地域をよりよくするための活動を工夫する。

No	大分類	中分類	施策の内容	事業名称	事業内容	計画期間	主管課	29年度の執行状況			29年度の実施内容	前年度の課題と対応	評価	評価説明	方針	教育の方針と重点	今後の課題
								予算額 千円	決算額 千円	不用額 千円							
29		みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指す	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	グローバル化対応教育の推進 英語教育推進事業	2020年の小学校高学年で英語の教科化に向けて、指導体制の確立や教員の指導力の強化が不可欠になります。そこで以下のように事業を進めます。 (1) 小・中学校教員の指導力向上 ・小学校3～6年担任向け、ALTと共に、英語で進める授業のための指導力向上研修の実施 ・小学校の担任主導の授業の基本的な形の確立 ・各小学校でのリーフレットを活用した研修の実施 ・各小中学校と担当者による生津小学校研究会と研究発表会・公表会への参加 (2) 市民が英語に親しむ風土作り ・夏季休業中のALTによる「ALT Englishサロン」の実施 ・「ALT Englishサロン」の実施に向けて、英語教育推進教師のコミュニケーション力の向上 (3) 中学生英語スピーチコンテストのための指導・参加生徒に対する積極的な指導	H29～H32	学校教育課	45	45	0	・小学校3～6年担任向け、ALTと共に、英語で進める授業のための指導力向上研修の実施（5回）。 ・各小学校でのリーフレットを活用した研修の実施。 ・英語教育推進委員が生津小学校研究会と研究発表会・公表会へ参加。 ・夏季休業中にALTイングリッシュサロンを開催。 ・学級担任が中心となって外国語活動の授業を進めるために、授業の流れや英語による声かけの参考となるリーフレットの作成。		A	・研修を通して、参加者が簡単な英語とジェスチャーを使って授業を進めていくことを学び、授業ではできるだけ英語を使うことを意識できるようになったことで、授業に参加する子どもたちもより英語に親しむことができるようになっていく。	新規	・グローバル化に対応した英語教育が求められ、文部科学省においても、小学校における指導体制を強力に推進している。しかしながら、担任主導で授業を進めていくことは難しい。そのためにも、英語力向上のための研修を集中的に仕組んでいく必要がある。	
30		みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指す	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	グローバル化対応教育の推進 外国語指導助手（ALT）配置事業	幼稚園及び小中学校における外国語教育の充実及び国際理解教育の推進を図るため、外国語担当教員等の助手として瑞穂市外国語指導助手（ALT）を配置します。ALTの業務としては以下のようなものがあります。 (1) 中学校における外国語科等の授業の補助 (2) 小学校における外国語活動等の補助 (3) 外国語教材の作成の補助 (4) 日本人教員等に対する現職研修の補助 (5) 特別活動や部活動等への協力 (6) 外国語担当指導主事や外国語担当教員等に対する語学に関する情報の提供 (7) 外国語能力コンテストへの協力 (8) 地域における国際交流活動への協力 (9) 夏季休業中の放課後児童クラブへの協力 (10) 学校教育課長又は校長が必要と認める職務等	H29～H32	学校教育課	21,600	21,586	14	・小学校7校に3人、中学校3校に3人（2人は幼稚園に2週間に1回1日勤務）を配置 ・小学校の外国語活動等、中学校の英語科の授業の補助 ・外国語能力コンテスト（スピーチコンテスト）への協力 ・夏季休業中にALTイングリッシュサロンを開催。 ・夏季休業中に放課後児童クラブで英語教室を開催（6回）。	課題 ・担任とALTの役割分担を明確にし、学級担任が中心となって授業を進め、児童生徒のコミュニケーション能力を高める。 対応 ・学級担任とALTの意識を高まっている。研修や研究授業、互いの授業を参観し合うなどする。	A	・ALTと児童生徒が、会話やゲームを楽しむ中で英語に慣れ親しみ、ALTや仲間と積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿が多く見られる。 ・ALTと担任との英語によるやりとりや、児童生徒との英語によるやりとりを通して、児童生徒のコミュニケーション能力や英語力は高まっている。研修等を通して、学級担任の意識も少しずつ高まりつつある。今後も継続していく必要がある。	継続	・授業日は、学級担任や教科担任と共に授業を行っている。しかし、夏季休業中にはALTの活用については十分ではない。そのため、その他の場や形による活用を今後も検討していく。 ・2020年には、3、4年生で各35時間の「外国語活動」、5、6年生で各70時間の「英語科」の実施となる。より効果的なALTの配置についても検討が必要である。	
31		みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指す	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	グローバル化対応教育の推進 ICT教育推進事業	情報化・グローバル化・少子化が急速に進展する現代社会において、情報機器を活用して情報を取捨選択し、有効に活用する力やグローバル人材の育成が急務です。 一人一人の児童生徒が、情報を取捨選択して学び合ったり、まとめた方や表現方法を自分自身で考えらりいった学習活動や仲間と考えを共有しながら、協働して学びを深めていく力をつけていくことを目指します。そのために、ICT機器を活用して、発表に必要な資料を作成したり、資料を効果的に提示して表現したりする活動を充実させます。また、何度も試行を繰り返し、チャレンジしながら学ぶことができます。	H29～H32	学校教育課	71,992	71,990	2	・市内全小中学校兼務の情報教育支援教員による情報教育の推進。 ・市内3中学校、1小学校に電子黒板、デジタル教科書等のICT機器を配置し、ICT機器を効果的に活用した授業を実施。 ・情報教育担当者研修を開催（3回）し、各校の情報教育の中心となるリーダーの育成。 ・文部科学省によるICT活用教育アドバイザー派遣（3回）を受け、市の情報教育の推進の在り方について検討。	課題 ・ICT機器の整備。 ・各校の情報教育担当者が中心となって、情報教育を推進する。 対応 ・情報教育支援教員の活用。 ・ICT活用教育アドバイザー派遣の活用。	A	・児童生徒一人一人に「生きている力」を身に付けさせていくために、ICT機器を導入し授業で活用すること、情報活用能力の育成が図られる。市内3中学校（牛伏小の一部）に電子黒板等が導入されたことで、ICT機器を効果的に活用した授業を進め学力向上を推進する。	継続	・今後もICT機器の整備に力を入れ、市内全小学校の各教室に電子黒板等1台を整備し、その後タブレット端末等の導入していくことで、ICT機器を効果的に活用した授業を進め学力向上を推進する。	

No	大分類	中分類	施策の内容	事業名称	事業内容	計画期間	主管課	29年度の執行状況			29年度の実施内容	前年度の課題と対応	評価	評価説明	方針	教育の方針と重点	今後の課題
								予算額 千円	決算額 千円	不用額 千円							
32	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	教職員の指導力向上の取り組みの充実	教職員研修事業（校別教科研究事業）	「教師自ら学び続けるみずほの学校」を合言葉に教師自らが人間性を磨き、教師として専門性や資質能力を高め、瑞穂市幼稚園、小中学校の教職員としての使命感の高揚を図ることを目的とします。 （1）研修の重点 ・若手教員育成 ・職務研修の充実と校内研修の活性化 ・自己の課題解決のための希望研修推進 （2）配慮事項 ・学校に軸足を置いた研修 ・中学校校区の活発な連携 ・市内公開授業による研修機会の拡大	H29 ～ H32	学校教育課	686	596	90	<p>課題 ・教職員が主体的に研修する。</p> <p>対応 ・研修内容を見直し、希望研修を増やすなどして、主体的に取り組めるようにする。 ・管理職への啓発。</p>	A	<p>・2～4年目・若手講師研修や学年主任研修を希望研修としたことで、参加者が主体的に研修に取り組むことができた。 ・中学校区で校外研修を開催したことで、昨年度に比べて少人数の研修となり、研究会ではより活発な議論を行うことができた。</p>	継続		<p>・教職員がより主体的に研修に取り組み、指導力の向上を図るために、希望研修を増やしニーズに応えられるようにするとともに、管理職との面談を通して自己の課題を明確にし、目的意識をもって研修に取り組めるようにする。</p>	
33	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	教職員の指導力向上の取り組みの充実	若手教員支援事業	本市は臨時的任用職員（講師）を含め、初任者、教職経験2～4年の若手教員が多くいます。その若手教員が、学習指導、生徒指導の力を身に付けると共に、教育公務員としての使命感や倫理観、学校組織の一員としての自覚を高めることを目的に研修を行います。 より具体的に個の課題に応じた研修にするために、一差に会して行う研修とともに、勤務校での日常研修（OJT、オンザ・ジョブ・トレーニング）を大切にしています。また各学校の全校研究授業など、授業公開の情報を共有し、積極的に参観し学び合う機会を多く生み出していきます。	H29 ～ H32	学校教育課	0	0	0	<p>課題 ・目的意識をもって、主体的に研修に取り組む。</p> <p>対応 ・悉皆研修を希望研修に変更したり、研修の出口を明確に示し、目的意識をもって主体的に取り組めるようにする。</p>	A	<p>・2～4年目・若手講師研修を希望研修としたことで、参加者が主体的に研修に取り組むことができた。 ・悉皆研修の5年目研修では、年間を通して取り組んだ実践をもとに、堂々と発表することができた。</p>	継続		<p>・教職員がより主体的に研修に取り組み、指導力の向上を図るために、管理職との面談を通して自己の課題を明確にし、目的意識をもって研修に取り組めるようにしたり、各校でのOJTを充実させたりする。</p>	
34	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	教職員の指導力向上の取り組みの充実	教員に対する相談事業	教師の多忙化、若手教員の増加、病休をとる教員の増加などメンタルヘルスの重要性が叫ばれています。そのため、瑞穂市教育支援センターの相談業務の中に、教員にたいする相談も含めて対応していきます。学級経営や授業については、研修担当が相談を受け、メンタル面においては、教育相談員が対応します。また、スクールカウンセラーとの相談も進めていきます。	H29 ～ H32	学校教育課	0	0	0	<p>課題 ・H29年度の相談件数は、1件のみであった。</p> <p>対応 ・多忙化解消計画の推進とメンタルヘルスケアの充実</p>	C	<p>・外部への相談に至る事案がないのは、各校内で解決が図られている結果だと考えられるが、相談窓口の開設についてさらに周知を図る必要がある。</p>	継続		<p>・パワー・ハラスメント以外のハラスメントも含めた方針の作成 ・小中学校全教職員のストレスチェックの実施</p>	
35	みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	教職員の指導力向上の取り組みの充実	幼稚園・学校訪問事業	幼稚園・小中学校の経営・管理運営の実態と教育指導の推進状況を把握し、成果と課題及び課題解決に向けての具体的な取組等、学校の教育目標の具現に徹する学校経営について指導・助言を行います。 1学期、夏季休業中、2学期に、それぞれ1回ずつ、年間3回訪問します。主な内容は以下の通りです。 ①管理職、主幹教諭及び主任層との懇談 ②教職員の人事管理についての園長・校長との懇談 ③施設設備の管理状況の確認 ④授業参観・保育参観 ⑤公定表簿等の点検 ⑥懇談、授業参観、公簿点検等についての指導・助言	H29 ～ H32	学校教育課	0	0	0	<p>課題 ・校長の学校経営の進捗状況を把握した上で、支援すべき内容を明確にする必要がある ・市教委訪問で指導助言した内容について、改善の見届けが必要である。</p> <p>対応 ・訪問を通して明らかにした課題が改善されているかについて、訪問後や次回訪問時に確認する。（特に、諸帳簿）</p>	A	<p>・各学校の学校経営の成果や課題を明らかにすることができた。 ・年3回訪問することを通して、児童生徒の成長や教員の指導力向上を確認することができた。 ・指導案を作成して授業実践を行うことで、授業力の向上に努めようとする教員の意欲が伝わってきた。 ※1学期の市教委訪問の指導案を簡略化したことにより（H28年度より）、主張したい授業のポイントを明確にした授業が行われた。</p>	継続	○		

No	大分類	中分類	施策の内容	事業名称	事業内容	計画期間	主管課	29年度の執行状況			29年度の実施内容	前年度の課題と対応	評価	評価説明	方針	教育の方針と重点	今後の課題																											
								予算額 千円	決算額 千円	不用額 千円																																		
36		みずほを褒し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	教職員の指導力向上の取り組みの充実	教育実践論文事業	H29～H32	学校教育課	33	28	5	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマの設定や実践の進め方、まとめ方などが十分身に付いていない若手教員が多い。7年目以上（6点）の応募がまだ少ない。 <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市や各校の若手研修にて、実践論文のまとめ方等について学ぶことができるようにする。管理職との面談を通し、7年目以上の教職員が目的意識をもって取り組めるよう働きかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員を中心に48点の応募があった。7年目以上の応募は前年の1点から6点に増えた。 ・学校の研究主題に関する内容だけでなく、自身の専門の教科指導、学級経営、生徒指導、健康安全、幼児教育等、幅広い実践があった。課題意識をもと、年間を通して実践が進められていた。 	継続	○	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も若手の指導力を高める研修（希望）の一環として進めていくとともに、中堅やベテランの教職員も自らの指導を見直し、更に指導力を高める機会とできるような働きかけを行う。 																													
37		みずほを褒し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	教職員の指導力向上の取り組みの充実	中学校部活動社会人指導者派遣事業	H29～H32	学校教育課	4,422	3,294	1,128	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動の実態に即した研修を実施する。 <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の在り方や生徒への指導について現職の教職員が研修会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の希望に応じた社会人指導者を派遣することができた。 ・研修会を行うことにより、顧問と連携して指導に当たるといふ社会人指導者の意識を高めることができた。 	拡大		<ul style="list-style-type: none"> ・顧問の興動により、専門的な指導を維持できない部活動に対応できる社会人指導者を発掘する。 																													
38		みずほを褒し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	安全・安心・快適な教育環境の整備	外国人児童生徒支援事業	H29～H32	学校教育課	2,165	2,115	50	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語放課後教室を10回開催。穂積小5回、牛牧小5回。 ・参加児童生徒11名。参加回数平均4.7回（10回中）。 ・放課後教室の進め方や支援体制づくり、振り返り等のための会議を4回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語放課後教室を10回実施し、参加者も11名いたが、保護者の送迎が必須だったため、本当に支援が必要な児童生徒への支援が十分ではなかった。 	改善		<ul style="list-style-type: none"> ・本当に支援が必要な外国人児童生徒や学級担任を支援できるような体制づくりの必要性。 																													
39		みずほを褒し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	安全・安心・快適な教育環境の整備	児童生徒就学支援事業	H29～H32	学校教育課	10,403	9,823	580	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の保護者及び保護者と住所を同じくしている親族の市町村民税所得割額が非課税で、生活保護に準じる程度に経済的に困窮していると教育委員会が認めた方で、母子家庭等で児童扶養手当を受給している等の条件に該当する保護者に対して、学校給食費や学校納入金等を援助する。 <p>(平成30年3月現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>穂積小</td> <td>20</td> <td>穂積中</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>本田小</td> <td>9</td> <td>穂積北</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>牛牧小</td> <td>18</td> <td>黒南中</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>生津小</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>南小</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>5</td> <td>西小</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>小学校計</td> <td>88</td> <td>中学校計</td> <td>41</td> </tr> </table>	穂積小	20	穂積中	16	本田小	9	穂積北	17	牛牧小	18	黒南中	8	生津小	15			南小	8			中	5	西小	13	小学校計	88	中学校計	41	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町に比べ、就学援助を受けている割合が低い。本当に必要な人に支援ができていないかという指摘がある。 <p>対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期の始業式に全児童生徒に文書を配付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時健康診断において新小1年生を対象に案内を行うとともに、各学期毎に学校から在籍児童・生徒の保護者に案内を行う周知を図った。 	継続	○	
穂積小	20	穂積中	16																																									
本田小	9	穂積北	17																																									
牛牧小	18	黒南中	8																																									
生津小	15																																											
南小	8																																											
中	5	西小	13																																									
小学校計	88	中学校計	41																																									
40		みずほを褒し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	安全・安心・快適な教育環境の整備	小学校洋式トイレ改修事業	H29～H32	教育総務課	278,478	268,704	9,774	<ul style="list-style-type: none"> ・南小学校大規模改修工事とともに照明の更新（LED化）やトイレの洋式化等が実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事の完了に伴い、施設の長寿命化や快適な教育環境の整備が図れた。 	完了																															
41		みずほを褒し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	安全・安心・快適で、質の高い学校教育を推進します。	安全・安心・快適な教育環境の整備	穂積中学校グラウンド整備事業	H29～H32	教育総務課	0	0	0	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設テニスコート整備工事及びグラウンド拡張に伴う設計委託の財源確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地購入から事業期間が延びている。 	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に向けた財源確保。 ・早期の運動場拡張工事を実施し、運動環境改善整備が必要。 																													

No	大分類	中分類	施策の内容	事業名称	事業内容	計画期間	主管課	29年度の執行状況			29年度の実施内容	前年度の課題と対応	評価	評価説明	方針	教育の方針と重点	今後の課題	
								予算額 千円	決算額 千円	不用額 千円								
42	みずほを 渡し、み ずほを誇 り、みず ほの活力 となる人 づくりを 目指しま す	安全・安 心・快適 で、質の 高い学校 教育を推 進します。	安全・安 心で快適 な教育環 境の整備	学校施設大 規模改修事 業	既存建物の耐震補強工事については、整備済みである中、老朽化した施設において、施設管理計画を基に維持補修を計画的に実施し、安全で快適な教育環境の改善整備を図ります。	H29 ～ H32	教育総務課	366,126	268,821	97,305	本田小学校における校舎・屋内運動場の大規模改修工事として、建築工事（屋上防水、外壁塗装等）、電気設備工事（電灯取替（LED化）、太陽光発電設備等）、機械設備工事（体育館多目的トイレ設置及びトイレ改修等）を実施し、施設の長寿命化が図れた。		A	大規模改修工事の完了に伴い、施設の長寿命化が図れた。	完了			
43	みずほを 渡し、み ずほを誇 り、みず ほの活力 となる人 づくりを 目指しま す	地域に学 び、世代 を超えた コミュニ ティづく りを推進 します。	生涯にわ たる学習 活動の推 進	家庭教育の 教育力の 向上を 目指した 家庭 教育学級 の推進と 乳幼児家 庭教育学 級の充実	教育の原点は家庭教育であることを根幹に、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、豊かな人間性を育むための家庭教育のあり方について学習する機会として家庭教育学級が位置づけられています。市では幼稚園、保育・教育センター、学校ごとに組織された各運営委員会に運営経費の補助をはじめ、家庭教育学級の内容の充実を目指して、講座の紹介などの支援をしています。 また、県の施策「話そう！語ろう！わが家の約束運動」を全ての家庭での実施を目指していきます。さらに瑞穂市子どもの読書活動推進計画と連携し、「家庭運動」や「親子読書」の推進を目指した研修内容の工夫に努めます。 乳幼児家庭教育学級の実施により、他機関との連携を図りながら乳幼児から家庭教育を推進します。また、家庭教育の大切さを父親にも啓発し、父親の参加率の向上を目指します。	H29 ～ H32	生涯学習課	895	720	175	・家庭教育学級については、5月の第1回回運営委員会兼指導者講習会にて、補助金に関する説明と年間計画を立てるうえで読書に関することや「話そう！語ろう！わが家の約束運動」を位置付けるお願いや、前年度に実施されたモデル講座の紹介を行った。また、2月の実践交流会では各学級が実施した講座の内容についての情報交流を行った。 ・乳幼児家庭教育学級は5月に新規託児サポーター講習会、7月と9月に託児をつけての講座（年6回）を行った。		A	・家庭教育学級は、補助学級12学級で合計71回の講座が実施され、「話そう！語ろう！わが家の約束運動」を昨年度3学級から6学級へ実施学級が増えた。 ・乳幼児家庭教育学級は、述べ参加者32人からアンケート回収が30人あり、その全てが内容について満足という結果であった。	継続	○		
44	みずほを 渡し、み ずほを誇 り、みず ほの活力 となる人 づくりを 目指しま す	地域に学 び、世代 を超えた コミュニ ティづく りを推進 します。	生涯にわ たる学習 活動の推 進	土曜日を活 用した瑞 穂総合ク ラブの推 進	本市の将来を背負っていく児童生徒の未来が光り輝くことを願い（チャイルド・ライト・アップ）、実施する事業です。 土曜日にあたる小中学生を対象とした、文化・スポーツなどの特色のある講座を開講し、豊かな感性と知的好奇心を育むこと、また、学校や学年の枠を超えた集団で学ぶことを通じて、望ましい社会性を育成することを目指します。	H29 ～ H32	生涯学習課	7,212	5,803	1,409	・36の講座（スポーツ14、文化22）を開講 指導者 154名 延受講者数 1,205名	・瑞穂総合クラブの運営業務委託において、「次年度より一層特色のある講座の開講に向けて」の分析業務を仕様内容に含めており、同委託により、残り3年間で4講座新設し、開設講座数40以上を目指す。		B	・瑞穂総合クラブの合理的運営を図るため、平成29年度の同クラブ事業の運営をNPO法人なまかよクラブ瑞穂に委託した。これにより、市教育振興基本計画に記載の「土曜日を活用した瑞穂総合クラブ」と「地域スポーツ」の差別化が図られ、それぞれの活動がより一層推進される。	改善	○	・瑞穂総合クラブの運営業務委託に係る監査指摘事項について、適切かつ早急に改善する。
45	みずほを 渡し、み ずほを誇 り、みず ほの活力 となる人 づくりを 目指しま す	地域に学 び、世代 を超えた コミュニ ティづく りを推進 します。	生涯にわ たる学習 活動の推 進	市民の自主 性を大切 にした市 民自主講 座の開設 の支援	瑞穂市では、初心者の方をはじめ多くの市民が参加しやすい自主的に学べる、教育・文化・スポーツなど幅広い市民自主講座の開講を支援しています。また、講師と市民が一体となり、自主運営化の支援をしています。平成28年8月の時点で市民自主講座から独立し、自主運営化した講座が4講座あります。今後も、市民の要望に応じていくよう、新規の講座を開講し、3年後には自主運営化というサイクルを支援しながら市民自主講座を育成していきます。	H29 ～ H32	生涯学習課	1,558	1,513	45	・前期は21講座、後期は20講座を開講 ・新規市民自主講座講師を1月～2月上旬にかけて募集		A	・受講者数は前期が211人、後期が188人だった。 ・楽しい太極拳、今さら始める英会話のキソ・発音のキソ、キレイになるヨガの3講座が団体登録を行い、自主的な活動をスタートさせた。 ・29年2月に募集した30年度に新規で市民自主講座の開講を希望する講座は10件あり、「ハーブを楽しむ」など、これまでの自主講座になかった分野の講座が開講されることになった。	継続	○		
46	みずほを 渡し、み ずほを誇 り、みず ほの活力 となる人 づくりを 目指しま す	地域に学 び、世代 を超えた コミュニ ティづく りを推進 します。	生涯にわ たる学習 活動の推 進	高齢者・女 性の生涯 学習の推 進（瑞穂大 学）	生涯にわたって学び続けることに生きがいをもたらし、地域社会の充実のために役立つ人材の育成を図るため、瑞穂大学において年間を通し、寿大学13講座、女性学部15講座程度、生きがいづくりに役立つ多くの講座を開講します。 また、脳力活性化部、脳の健康を保ちつつまでも生き生きと生活できることをねらひ、市内各小学校を会場とし、開設します。児童との交流や合同授業、学校行事の参観もあります。	H29 ～ H32	生涯学習課	4,880	4,780	100	・寿学部 60歳以上の男女を対象に13回の教養講座。（H29：672名） ・女性学部 成人女性を対象に15回（うち6回は寿学部との合同）の教養講座。（H29：297名） ・脳力活性化部 60歳以上の男女を対象に18回、国語、算数を中心とした授業。（H29：24名 牛牧小学校） ・高齢者人材育成事業 明正会による18回の出前講座（延べ107名）		A	・寿学部、女性学部ともに講演を聴くスタイルだけでなく、毎回の講座で季節の歌を取り入れ、講座ごとに変化があるよう工夫している。寿学部では、実際に体を動かす5分間体操も行っている。	継続	○		

No	大分類	中分類	施策の内容	事業名称	事業内容	計画期間	主管課	29年度の執行状況			29年度の実施内容	前年度の課題と対応	評価	評価説明	方針	教育の方針と重点	今後の課題
								予算額 千円	決算額 千円	不用額 千円							
47		みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	地域に学び、世代を超えたコミュニティづくりを推進します。	生涯学習自主事業の推進	文化芸術は、暮らしに喜びや感動を与え、豊かな人間性や創造性を育み、活力ある地域社会を実現していく上で、その重要性が高まっています。市民の誰もが文化芸術を身近に感じ、主体的に取り組むことができる環境を整える必要があるため、市総合センターを活用し、下記の①～③の事業を実施します。 また、同事業は市民協働により、市民の主体的な文化芸術活動への参加を促します。 ①市民に芸術を鑑賞する機会を提供する事業 ・ネオクラシックコンサート（市文化協会と共催） ・みずほ演劇祭（実行委員会の設置、市民ボランティアの募集） ②著名人の講演を聴く機会を提供する事業 ・文化講演会 ③親子でふれあう機会を提供する事業 ・しまじろうコンサート等（※2年に1回程度）	H29～H32	生涯学習課	4,151	4,021	130	<ul style="list-style-type: none"> 第18回ネオクラシックコンサート（7/30 543名参加） 文化講演会「山本 昌」（11/18 611名参加） 第17回みずほ演劇祭（6団体）（1/20～2/11 1,625名参加） 		A	<ul style="list-style-type: none"> 市教育振興基本計画の基本方針である『生涯にわたる学習活動の推進』の観点から、市民の誰もが文化芸術を身近に感じることのできるよう、総合センターにおいて3つの自主事業を実施した。 その中で、みずほ演劇祭については、実行委員会形式を採用し、また市民サポーターを募集するなど市民が主体的に取り組むことができる環境を整えた。 	継続	○	
48		みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	地域に学び、世代を超えたコミュニティづくりを推進します。	図書館機能の充実と市民への学習機会の提供と支援	市役所や学校、他の機関と連携し、地域を支える情報拠点として機能する図書館をめざします。 ①市役所や他の機関と連携した事業 ②幼稚園・学校等への団体貸出、図書館見学等の受入 ③読書サークル活動や読み聞かせボランティア活動の支援 ④図書館サービスの充実ときめ細やかな広報活動 ・HPでの蔵書検索、予約サービス、イベント情報の提供 ・「広報みずほ」、「瑞穂市図書館たより」、「新着図書案内」、「もくようみずほ」での情報提供 ⑤魅力ある図書館事業の実施 ・通年事業 本館・分館「おはなしの会」、本館「映画鑑賞会」 ・特別企画 子ども読書週間・夏休み・読書週間に合わせて事業や講座の開催 ・郷土の歴史や文化を大切に、地域の課題解決や調査研究支援 ⑥図書館資料の充実と郷土資料の収集 ・本館…一般図書、児童書、参考図書の充実、郷土資料（中山道関係、水書と治水関係図書を中心に古文書、古記録、写真等）、行政資料の継続的な収集・保存及び提供 ・分館…子育て支援関係図書、児童書の充実 ⑦岐阜県内及び東海北陸各県と公共図書館との相互貸借	H29～H32	生涯学習課	52,025	51,539	486	<ol style="list-style-type: none"> ①禁煙週間の展示（健康推進課）、法定教科書の展示会（学校教育課） ②小学校・放課後児童クラブへの貸出や瑞穂北中学校1年生、穂積小学校2年生、牛牧小学校2年生の見学。3中学校生徒の職場体験受入 ③読書サークルや読み聞かせボランティア団体・個人の活動支援や事業保険加入 ④夏休みの本館開館時間延長やHPでの蔵書検索、その他予約リクエスト 8,735件、インターネット予約 4,874件、文庫複写サービス、636件等のサービスや毎月、市広報誌への掲載、図書館だより・新着図書案内の発行、FMわっち「もくようみずほ」でのPR ⑤子どもの読書週間・夏休み・読書週間に合わせた特別企画の実施、映画鑑賞会（月1回）読書サークルの「声を出して読みましょう」（月1回）、読み聞かせボランティア「おはなしの会」（毎週2回）実施、また、郷土の歴史・文化に関する企画展の実施 ⑥蔵書数（雑誌・視聴覚除く）は本館 201,087冊、分館 64,973冊。また、本館では中山道や水書と治水関係の図書を中心に古文書・記録・写真等の収集や行政資料の継続的な収集、分館では、子育て支援関係の図書や児童書を充実 ⑦相互貸借 855件 		A	<p>毎年、図書は約8千冊購入しており蔵書数は、両館合わせて約266千冊となり、ほぼ収容能力限界となっている状況であるが、計画的な図書購入が出来る。また、選書は司書資格者が利用者のリクエストも反映しながら、幅広く偏りのない選書に努めている。</p>	継続	○	市では公共施設維持管理計画の策定が進められ、新市庁舎建設に合わせて施設の統廃合も検討されている。こうした中、図書館分館あり方について検討する。
49		みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指します	地域に学び、世代を超えたコミュニティづくりを推進します。	子どもの読書活動の推進	子どもたちの成長に応じ、読書のきっかけづくりから読書習慣の形成・確立、そして自主的な読書活動にいたるまで、家庭、学校、地域、図書館がそれぞれの役割を果たしつつ相互に連携しながら読書環境整備に取り組みます。第二次瑞穂市子ども読書活動推進計画をもとに「読書のまち瑞穂」の基盤づくりに取り組んでいます。 ・ブックスタート事業の実施 ・「読書通帳」の活用と推進 ・図書館職員による出前講座 ・家読運動の啓発と推進	H29～H32	生涯学習課	1,624	1,571	53	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動推進会議を開催し、子どもの読書活動の推進を図った。 子どもの読書活動推進会議（6・10・2月）開催 同会議作業部会（8・1月）開催 ブックスタート24回、563名に絵本を配布 「読書通帳」配布開始（11月） 		A	<ul style="list-style-type: none"> 第二次子どもの読書活動推進計画の5年計画の1年次として、計画の周知を図った。 「読書通帳」を11月より市民への配布を開始した。 	継続	○	